

2023年12月14日

## 第212回臨時国会閉会にあたっての談話

日本退職者連合  
事務局長 野田 那智子

### 1. 財政の原則を無視した問題だらけの2023年度補正予算が成立

11月29日、総額13.2兆円の2023年度補正予算が成立しました。物価高への生活支援策として、住民税非課税世帯への7万円の給付やエネルギー事業者への補助金延長は一定程度理解できます。しかし、その規模は総額の約2割で、残り8割は既存経費の積み増しや基金の新設・増加となっています。補正予算の前提である「特に緊要となった経費の支出」とは言い難い項目が数多く含まれ、当初の「税収増の還元」からかけ離れ、財源の7割を国債の追加発行で賄うなど、問題だらけの補正予算となっています。十分な国会審議が行われなかったことは財政民主主義に反するものと言わざるを得ません。

### 2. 「政治と金」をめぐる信頼を失った政権は退場を

12月13日、第212回臨時国会が閉会しました。終盤になって、自民党の派閥が主催する政治資金パーティー収入の一部が裏金化されていたとみられる問題が発覚、総額が5億円を超える規模であることが伝えられています。岸田首相は官房長官ら安倍派の4閣僚を交代させ、さらに政務三役や自民党役員を更迭する事態へと追い込まれています。政策決定の基盤は政治に対する信頼です。政治資金をめぐる国民の信頼を失い、支持率も最低となった現政権には退場してもらおうしかありません。

### 3. 生活を重視する政治を実現するために政権交代を

現政権が独断で決定した総額43兆円もの防衛費を調達する増税の開始時期は決められない状況です。また、3.6兆円規模とされる少子化対策の財源も見通せていません。理に適った負担と給付のあり方が問われています。来る国政選挙において、連合と連携しながら、国民生活・社会保障を重視する野党の勝利で政権交代を実現させるため共に奮闘しましょう。

以上